

# 研修会予告編



いじめ、不登校、貧困、児童虐待など、子どもの問題が複雑化、深刻化する中で、問題に焦点を当てて取り組むだけでは、子どもたちを守ることが難しい現状があります。子どもたちの成長発達には、安心安全な日々の生活の連続体から成り立つのではないのでしょうか。



そこで、今回の研修では、堺市立福泉東小学校区で行われている「早起きをして朝食をしっかり食べて、歯磨きをして登校する」—そんな『生活の視点』で子どもたちにかかわる子ども食堂の取り組みについて実践者からお話しいただきたいと思います。子どもたちにかかわる立場の違う大人。それぞれがどのような立場や思いで関わっているのか。また、学校と地域とそこにかかわる専門家がどのような協働をおこなっているのか。この珍しい取り組みをきっかけに、子ども支援の新しい形を考えていきたいと思っています。

詳細や申し込みにつきましては、なにわだより12月1月合併号をご確認ください



2019年1月27日（日）

14：00～17：00（予定）

場所：大阪府社会福祉会館（予定）



## ◆プログラム◆ 地域に根差す学校の取り組みから、スクールソーシャルワーカーの役割を考える

- 基調報告：「朝食支援から子どもたちの学校生活を支える—小学校と地域の取り組み実践」  
久山藍子さん(堺市教育委員会・スクールソーシャルワーカー)
- リレートーク：基調報告を受けて、朝食支援にかかわっている方々によるリレートーク  
登壇者(予定)：スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、自治会長、歯科医  
コーディネイター：山中徹二さん(大阪人間科学大学)